

漢文『四面楚歌』定期テスト対策問題 | 書き下し・現代語訳・句法の頻出設問と解答

組 番 氏名

／100点

本文

項王の軍、垓下に①壁す。兵少なく食尽く。漢軍及び諸侯の兵、之を囲むこと数重なり。夜、漢軍の四面、皆②楚歌するを聞き、項王乃ち大いに驚きて曰はく、

「③漢、皆已に楚を得たるか。④是れ何ぞ楚人の多きや。」と。

項王則ち夜起ちて帳中に飲む。美人有り、名は虞。常に幸せられて従ふ。駿馬有り、名は騅。常に之に騎る。⑤是に於いて項王乃ち悲歌忼慨し、自ら詩を為りて曰はく、

力は山を抜き 気は世を⑥蓋ふ

時利あらず 騅逝かず

騅の逝かざる ⑦奈何すべき

虞や虞や ⑧若を奈何せん

と。歌ふこと数闋、美人之に和す。項王泣数行下る。左右皆泣き、能く仰ぎ視るもの莫し。

【白文】

項王軍壁^二垓下^一。兵少食尽。漢軍及諸侯兵、圍^レ之數重。夜聞^二漢軍四面皆^一楚歌^一、項王乃大驚曰、「漢皆已得^レ楚乎。是何楚人之多也。」項王則夜起飲^二帳中^一。有^二美人^一、名虞。常幸從。有^二駿馬^一、名騅。常騎^レ之。於是項王乃悲歌忼慨、自為^レ詩曰、力拔^レ山兮氣蓋^レ世 時不^レ利兮騅不^レ逝 騅不^レ逝兮可^二奈何^一 虞兮虞兮奈^レ若何。歌數闋、美人和^レ之。項王泣數行下。左右皆泣、莫^二能仰視^一。

設問

- 傍線部①「壁す」の読みを、送り仮名も含めて現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
- 傍線部①「壁す」はここではどのような意味か。最も適切なものを次から一つ選びなさい。
 - (ア) 城壁を新しく築く
 - (イ) とりでを築いて立てこもる
 - (ウ) 敵の城壁を破壊する
 - (エ) 川を背にして陣を構える
- 傍線部②「皆楚歌するを聞き」を、すべて現代仮名遣いのひらがなで書き下しなさい（白文「皆楚歌」の部分の読みを問う）。
- 「四面楚歌」とは、ここではどのような状況を表しているか。本文の内容に即して三十字以内で説明しなさい。
- 傍線部③「漢、皆已に楚を得たるか」を現代語訳しなさい。
- 傍線部③の文末「乎（か）」は、ここではどのような意味・用法か。次から一つ選びなさい。
 - (ア) 命令

- (イ) 疑問
- (ウ) 反語
- (エ) 比較

7. 傍線部④「是れ何ぞ楚人の多きや」について、次の小問に答えなさい。
1. この句に用いられている句法の名称を答えなさい（「何～（や/也）」の形）。
 2. 「疑問」と「詠嘆（感嘆）」のうち、ここではどちらの意味でとらえるのが適切か答え、その理由を本文の場面に即して簡潔に説明しなさい。
8. 傍線部④「是れ何ぞ楚人の多きや」を、詠嘆（感嘆）の意味を生かして現代語訳しなさい。
9. 項王が傍線部③④のように驚いたのはなぜか。「楚歌」が項王に何を悟らせたのかが分かるように、四十字以内で説明しなさい。
10. 傍線部⑤「是に於いて」の読みを現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
11. 本文中の「美人有り、名は虞」「駿馬有り、名は騅」について、次の小問に答えなさい。
- 「虞」とは何（誰）を指すか答えなさい。
 - 「騅」とは何を指すか答えなさい。
12. 傍線部⑥「気は世を蓋ふ」の「蓋ふ」の読みを、送り仮名も含めて現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
13. 詩の第一句「力拔山兮気盖世（力は山を抜き気は世を蓋ふ）」は、項羽のどのような人物像・心情を表しているか。簡潔に説明しなさい。
14. 詩の各句に用いられている「兮」という字について、次の小問に答えなさい。
1. 「兮」は読むか、読まないか答えなさい。
 2. 「兮」は詩の中でどのような働きをしている字か、簡潔に説明しなさい。
15. 傍線部⑦「奈何すべき」の読みを現代仮名遣いのひらがなで答えなさい。
16. 傍線部⑧「若を奈何せん」について、次の小問に答えなさい。
1. 「若」とは誰を指すか答えなさい。
 2. 「奈何せん」はここでは疑問・反語のどちらでとらえるのが適切か答えなさい。
17. 傍線部⑧「虞や虞や若を奈何せん」を、項羽の心情が伝わるように現代語訳しなさい。
18. 「奈何（いかん・いかんせん）」という句法について、次の小問に答えなさい。
- 「奈何」が文末に置かれて「いかん」と読むときと、目的語をともなって「～をいかんせん」と読むときとで、意味の違いを簡潔に説明しなさい。
19. 項羽がこの詩（垓下の歌）に込めた心情として最も適切なものを次から一つ選びなさい。
- (ア) いまだ衰えぬ闘志で、必ず劉邦を討つという決意
 - (イ) かつての英雄としての自負と、時運に見放され愛する者すら守れぬ無念・絶望
 - (ウ) 部下を見捨てて一人逃げ延びようとする打算
 - (エ) 天下を統一できた満足と安堵

20. 本文末尾「項王泣数行下る。左右皆泣き、能く仰ぎ視るもの莫し」の描写は、その場のどのような様子を表しているか。簡潔に説明しなさい。
21. 「能く仰ぎ視るもの莫し」を現代語訳しなさい。
22. この文章の出典について、次の小問に答えなさい。
1. 作品名を漢字で答えなさい。
 2. この作品の作者（编者）を漢字で答えなさい。
 3. この文章が収められている編（巻）の名を答えなさい。
23. 出典の作品『史記』が、人物の伝記を中心に歴史をえがく形式で書かれていることを何というか。次から一つ選びなさい。
- (ア) 編年体
 - (イ) 紀伝体
 - (ウ) 国別体
 - (エ) 紀事本末体
24. 「四面楚歌」は、現在では故事成語としてどのような意味で使われているか。簡潔に説明しなさい。